

2. 海岸での活動を通じた地域活性化に関する研究

まちづくり・防災グループ
研究員 佐治 史

海に囲まれた日本



出典：国土地理院

様々な表情を見せる日本の「海岸」



浄土ヶ浜 (岩手県宮古市)
出典：宮古市



三保松原・清水海岸 (静岡県静岡市)
出典：静岡県



皆生温泉海水浴場・皆生海岸 (鳥取県米子市)
出典：皆生温泉旅行組合



由比ガ浜海水浴場・鎌倉海岸 (神奈川県鎌倉市)
出典：由比ガ浜海水浴場



東尋坊 (福井県坂井市)
出典：(公社) 福井観光連盟



土盛海岸 (鹿児島県奄美大島)
出典：(一社) あまみ大島観光物産連盟

2/30

海外における海岸の代表的利用ービーチリゾート

- ビーチ (砂浜、浜辺) + リゾート (避暑地、保養地、行楽地)
- 比較的温暖な地域 (月平均気温27℃以上)
- 長期滞在型・通年型観光地
- 海水浴, 海洋スポーツ, 多目的レクリエーション [淡野1986]



ワイキキビーチ (ハワイ共和国)
出典：ハワイ州観光局総合ポータルサイトallhawaii



ニース (フランス共和国)
出典：フランス観光開発機構



モルディブの水上コテージ (モルディブ共和国)
出典：モルディブ共和国観光省

3/30

研究の背景

□ 「観光資源」の観点から日本のビーチへの期待

- 観光庁

体験型観光の促進に向けた提言を公表 2018年3月～

ビーチの通年利用アクティビティの充実、人が集まる仕組みの検討

- 海岸4省庁 2018年10月～

「ビーチリゾートの創出に関する技術検討ワーキンググループ」設置

- 海岸法改正（平成11年）



4/30

研究の問い・目的

【問い】

日本ではなぜビーチリゾートが定着していないのか？

日本に適したビーチリゾートを成立させるためのポイントは何か？

調査対象：

海岸の周辺条件・アクティビティ実施状況・物理環境

先進的な取組事例

有識者・海岸管理者



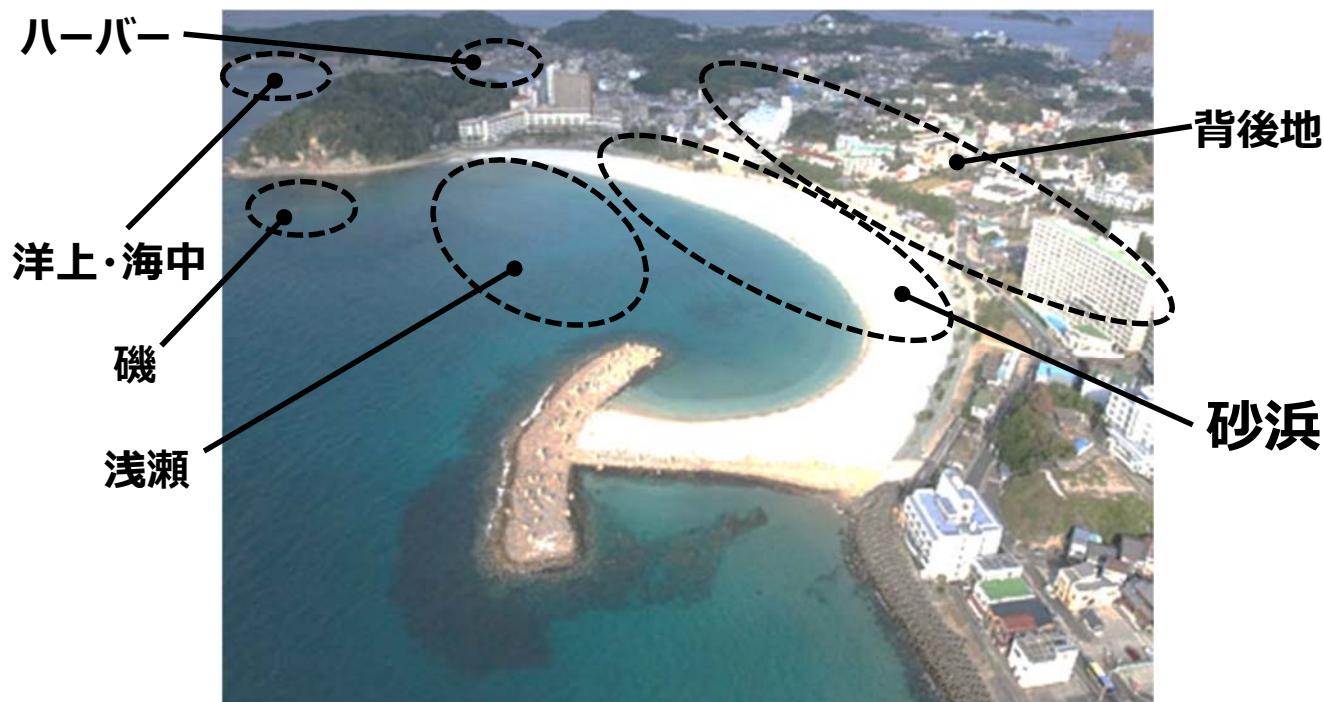
【目的】

日本に適した利活用促進に向けた海岸管理者が行う施策の方向性を提示

5/30

本研究における「海岸」の定義

「砂浜」、「磯」等と、その背後地を含む概念



出典：白浜観光協会

6/30

目次

- 1 . 海岸の利活用に関する現状と課題
- 2 . 利活用の多い海岸にみる課題解決のヒント
- 3 . 先進的な取組事例にみる課題解決のヒント
- 4 . 有識者・海岸管理者からの視点
- 5 . 海岸管理者等が行うべき施策の方向性

7/30

1 . 海岸の利活用に関する現状と課題

8/30

1-1.日本の自然・地形条件から見た制約

(1) 気温

- 石垣島（月平均気温24.3℃）

(2) 台風

- 年平均4回
- 海水浴シーズンと重複

(3) 砂浜の減少

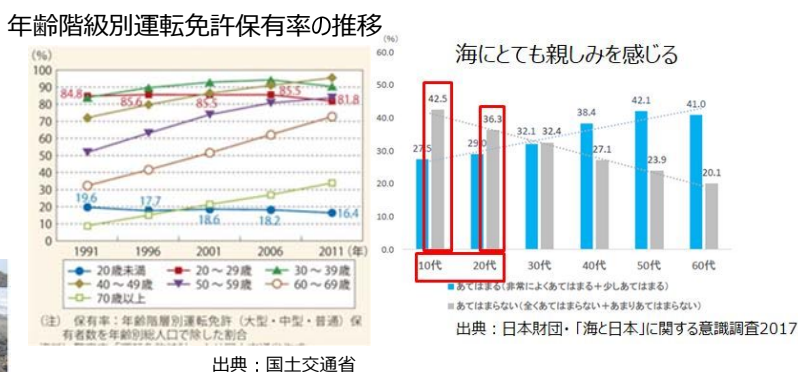
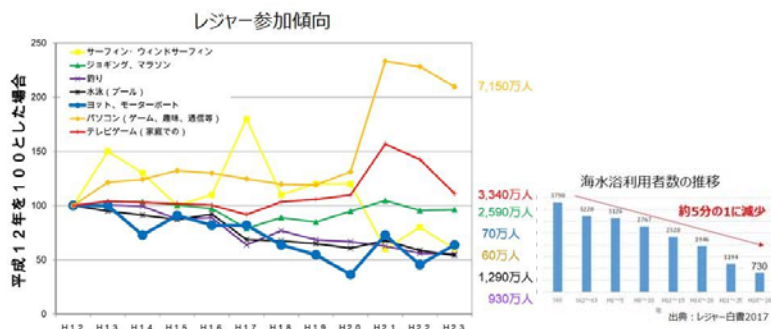


台風12号（H30.7.28-29）による
湯河原海岸海の家被害事例（神奈川県）
出典：国土交通省

9/30

1-2.社会条件から見た現状・課題

- (1) レジャーの多様化
- (2) 海に対する意識の変化
- (3) 海岸漂着物
- (4) 利用マナーの低下



出典: 海岸における一体的漂着ゴミ対策検討調査報告書

10/30

1-3.法制度から見た現状・課題

- 現行の海岸法や条例等
 - 都道府県知事や市町村がガイドラインや条例等を制定
 - 砂浜の商業利用を禁止するものではない

(1) 規制事項の多さ

- 規制事項が多く、利用の妨げの恐れ

例) 「海水浴場ルールに関するガイドライン」

「鎌倉市海水浴場のマナー向上に関する条例」

「安全で快適な海水浴場の確保に関する条例・規則」等



「海水浴場ルールに関するガイドライン」
(平成30年度版) 出典: 神奈川県

11/30

1-4. 海岸の利活用に関する現状と課題（小括）

自然・地形条件の制約	社会条件から見た現状と課題	法制度から見た現状と課題
(1) 気温	(1) レジャーの多様化	(1) 規制事項の多さ
(2) 台風	(2) 海に対する意識の変化	
(3) 砂浜の減少	(3) 海岸漂着物	
	(4) 利用マナーの低下	

制約や課題をどのように解決/うまく付き合っているのか？

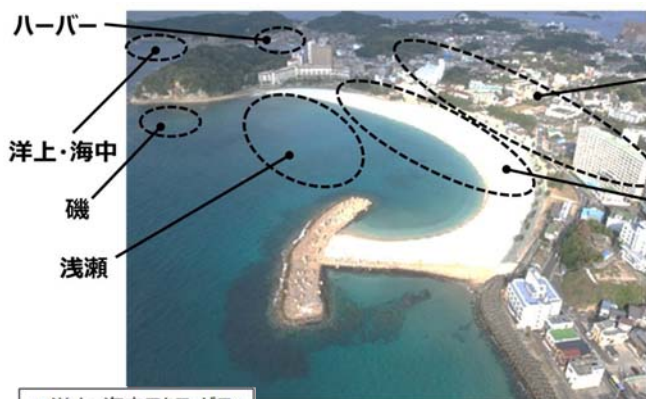
12/30

2 . 利活用の多い海岸にみる 課題解決のヒント

13/30

2-1.海岸の利活用状況の調査概要

- 利活用の指標 = 海水浴場利用者数 (環境省)
- 分析対象 216海岸



- 洋上・海中アクティビティ
- ハーバーアクティビティ
- 浅瀬アクティビティ
- 砂浜アクティビティ
- 歴史・文化アクティビティ
- 施設アクティビティ

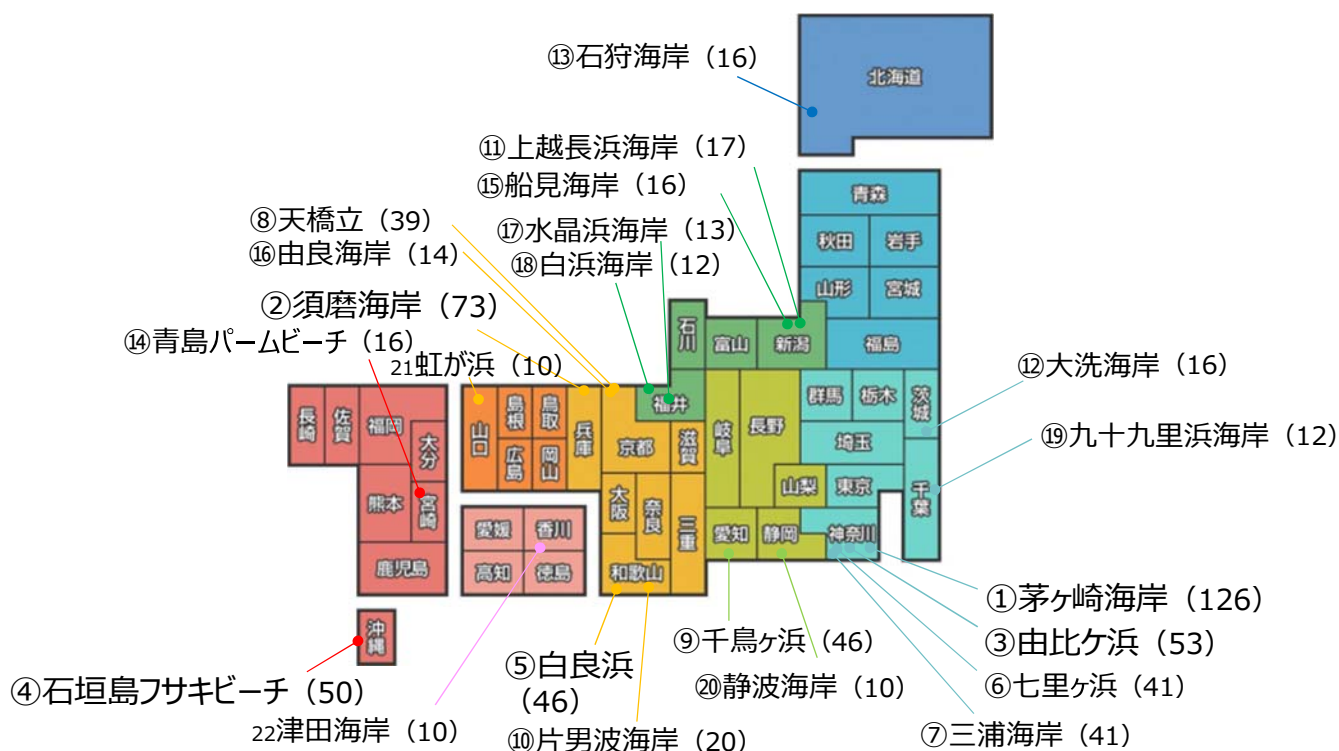
出典：白浜観光協会

アクティビティ	内容
洋上・海中アクティビティ (8項目)	ダイビング、カイトサーフィン、ウィンドサーフィン、船釣り、ホエールウォッチング、ドルフィンウォッチング、クルージング、パラグライダー
ハーバーアクティビティ (2項目)	堤防釣り・海の釣堀、ヨット
浅瀬アクティビティ (8項目)	海水浴、サーフィン、ボディボード、SUP、カヤック、シュノーケリング、磯観察、地引網体験
砂浜アクティビティ (11項目)	ビーチスポーツ、ビーチヨガ、サイクリング、ドライブ、乗馬、バーベキュー、キャンプ・グランピング、天体観測、潮干狩り、エステ・マッサージ、サンドアート
歴史・文化アクティビティ (5項目)	祭り、神社・仏閣、景勝地、絶景、ロケ地
施設アクティビティ (11項目)	リゾートホテル、プライベートビーチに近い運営、民宿、海の家、レストラン・カフェ、温泉街、温泉施設、水族館、道の駅・海の駅、商業施設、展望台

海岸アクティビティ (6分類45項目)

14/30

2-2.海水浴場利用者数が多い 上位22海岸 (10万人以上)



凡例：①～22は、海水浴場利用者数の順位。
括弧内は海水浴場利用者数

15/30

2-3.海岸利用の活性化に向けた創出条件の分析

(1) 海水浴場の周辺条件

- 最寄駅からの距離：2km未満（平均8km）
- 海岸アクティビティ：15種類以上（平均12種）

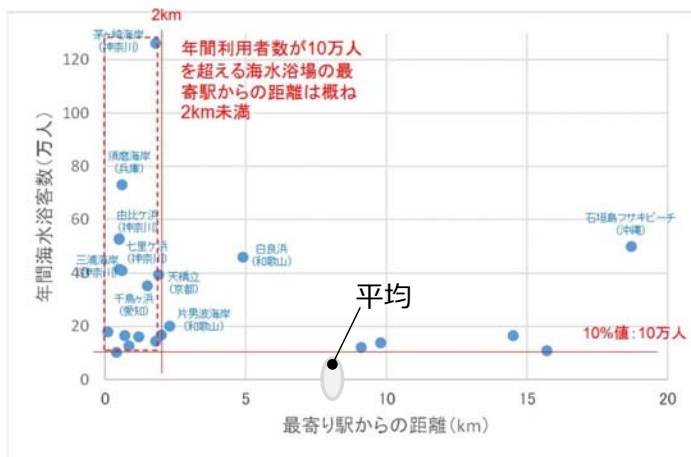


図-1 最寄駅からの距離－利用者数の関係

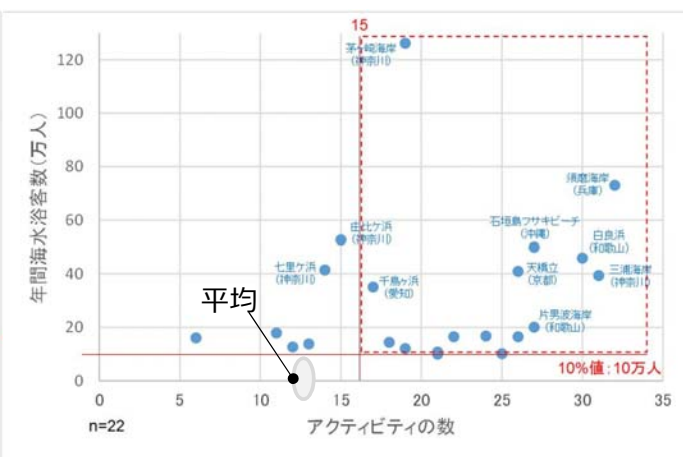


図-2 海岸アクティビティ－利用者数の関係

2-3.海岸利用の活性化に向けた創出条件の分析

(2) 海岸のアクティビティの状況

- 利用者数の多い海岸：
歴史・文化アクティビティ、施設アクティビティが充実

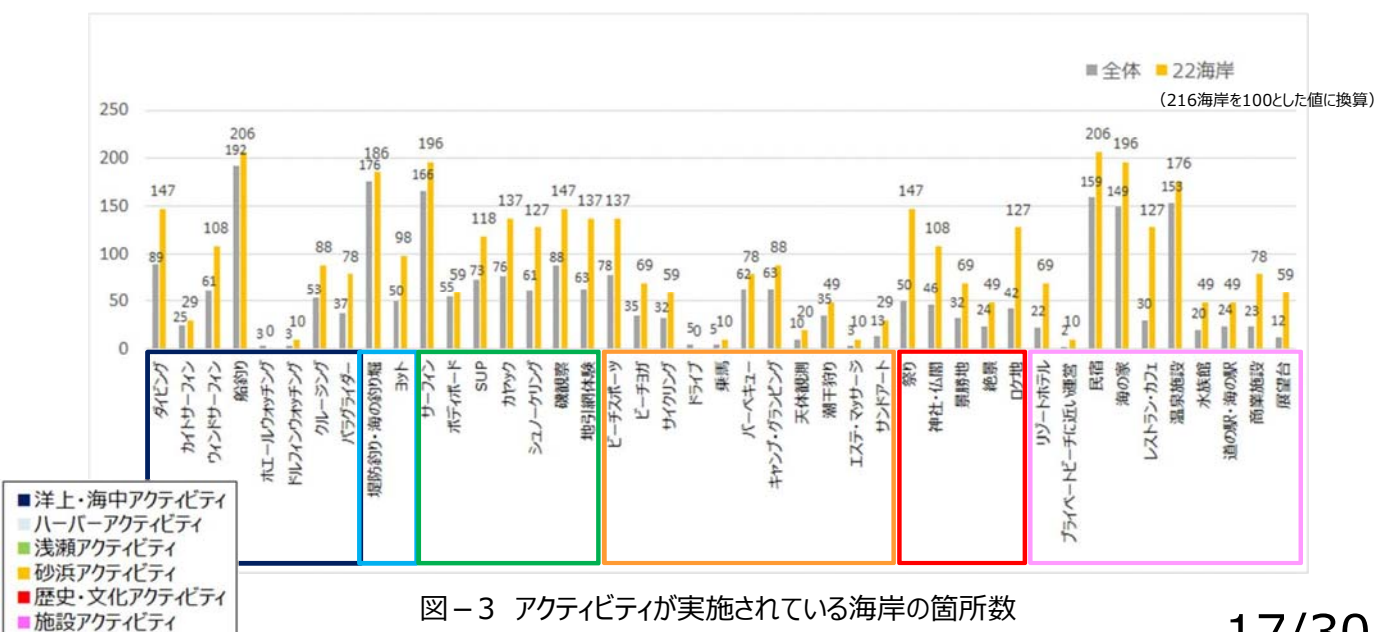


図-3 アクティビティが実施されている海岸の箇所数

2-3. 海岸利用の活性化に向けた創出条件の分析

(3) 砂浜の自然・地形条件（砂浜の幅、横断勾配）

- 砂浜の幅：58m以上（平均52m）
- 砂浜の横断勾配：1/40未満（平均1/38）

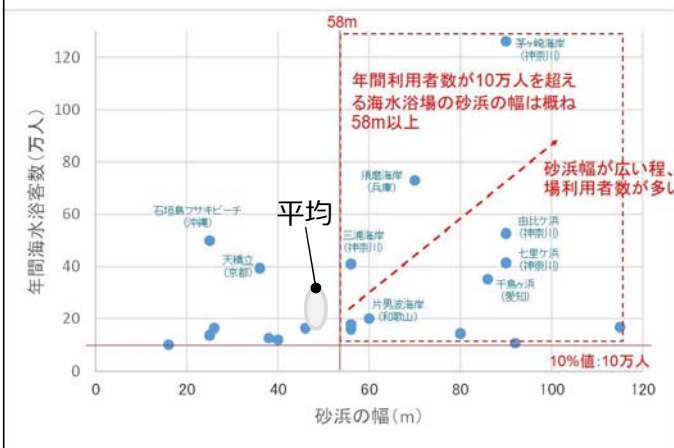


図-4 砂浜幅－利用者数の関係

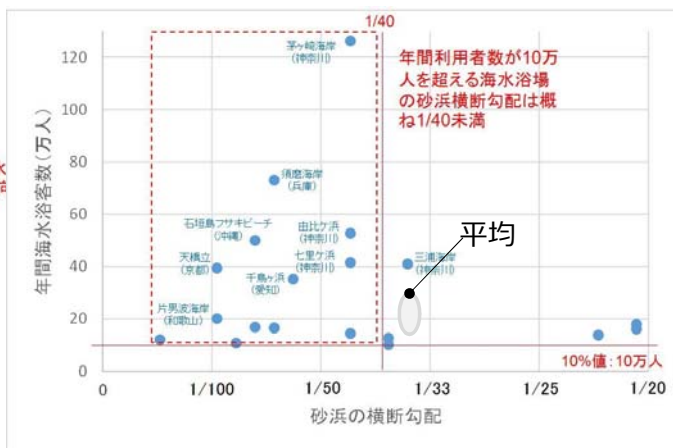


図-5 砂浜横断勾配－利用者数の関係

18/30

2-3. 海岸利用の活性化に向けた創出条件の分析

(4) 砂浜の自然・地形条件（気象・海象）

- 月総雨量（7-8月平均）：150mm未満（平均179mm）
- 気温（7-8月平均）：26℃以上（平均26℃）

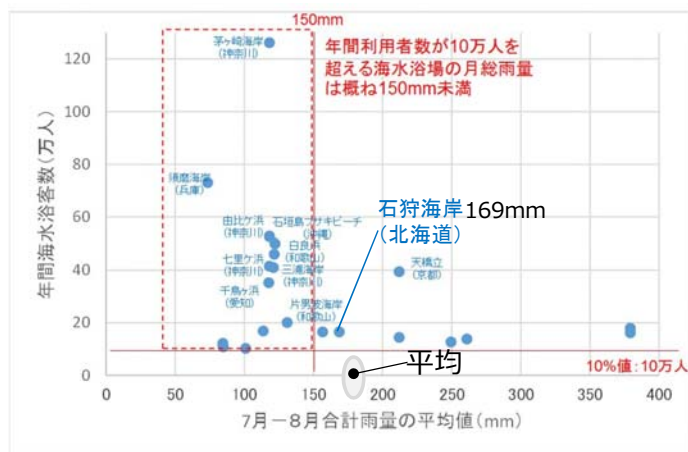


図-6 月総雨量－利用者数の関係

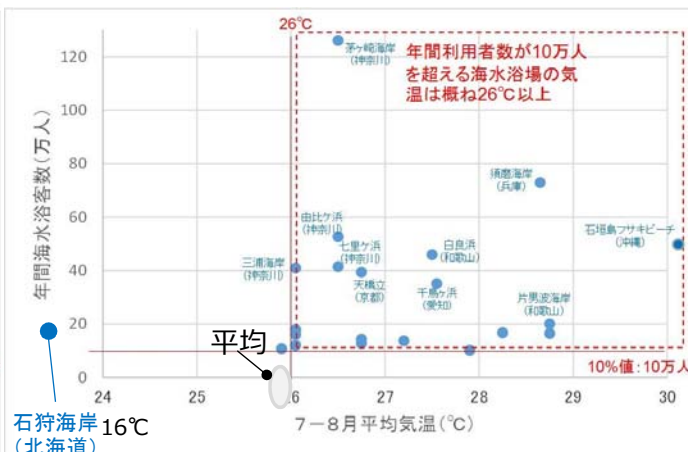


図-7 気温－利用者数の関係

19/30

2-4.自然・地形条件の制約を解決するヒント

(1) 背後地を含むアクティビティの充実

祭り、神社・仏閣

温泉街、レストラン・カフェ、道の駅 等

⇒地域にお金を循環、通年利用、風水害リスク低減

(2) 海水浴 + α

「泳ぐ海」から「見る海」へ

「借景」としての海

「聴く海」

⇒新たなターゲットの獲得

(3) 風物詩

• 石狩海岸のバーベキュー ex.沖縄「ビーチパーティー」「ビーチパーリー」

20/30

3 . 先進的な取組事例にみる 課題解決のヒント

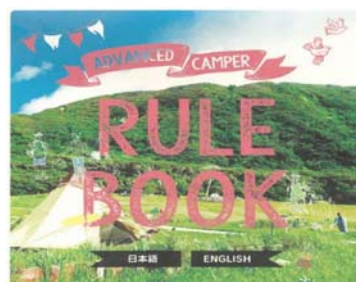
21/30

3-1. 利用マナーの向上（東京都新島村：羽伏浦海岸）

- 1970年代後半～1980年代
「離島ブーム」やサーフィン人気
観光客が増加⇒騒音や風紀の乱れが問題化
- 新島村、関係団体が「夏期対策申し合わせ事項」を作成
利用客へ周知徹底
- 白砂のビーチ、温泉及びキャンプ場が訪日外国人にも人気



羽伏浦海岸 出典：新島村



キャンブルールブック（英語併記）
出典：新島村

22/30

3-2. 地域と一体となった取組（沖縄県恩納村：恩納海岸）

- 「恩納村沿岸域圏総合管理協議会」を設置
「恩納村沿岸域の利用・保全ルール」を策定
- 恩納村が管理
海岸清掃、堆積土砂の撤去、遊泳監視、占用等に関する許可等
- リゾートホテル事業者がホテル前面の砂浜の専属管理者
清掃や安全対策



出典：「恩納村沿岸域利用・保全ルール」を基に作成

23/30

4 . 有識者・海岸管理者からの視点

24/30

有識者・海岸管理者へのヒアリング調査



- 砂浜の減少を補う工夫
砂浜が維持されてこそ利用が可能。観光客も砂浜の維持のコスト負担に上手に加わってもらう知恵が必要

- 新たなターゲットを呼び込む工夫
 - ・“砂浜のアクティビティ”が若者とインバウンドの両方を呼び込む共通要素
 - ・東京から日帰り可能な立地を活かし、インバウンド向けのツアーやクルーズとのコラボレーション



25/30

有識者・海岸管理者へのヒアリング調査



- 砂浜の適正な商業利用
 - ・海の家を設置期間が延びるほど採算性が問題
 - ・設置期間延長により、汚水の処理で衛生面に課題

- 地域と一体となった取組み
 - ・砂浜の利用をまちづくり計画全体に位置づけることが必要
 - ・地域経済に循環する仕組みづくりが大事



26/30

5 . 海岸管理者等が行うべき施策の方向性

27/30

研究のまとめ

【問い】

日本ではなぜビーチリゾートが定着していないのか？

日本に適したビーチリゾートを成立させるためのポイントは何か？

【まとめ】

- 砂浜と隣接する複合型施設や地域の観光資源を組み合わせた通年利用可能なリゾートの検討
- 風水害リスクに対応するための防災機能を確保したリゾートの検討
- 世代や客層に合わせた利用ニーズの発掘、呼び込み方策の検討

28/30

砂浜の利活用促進に向けた3つの柱

【目的】

日本に適した利活用促進に向けた海岸管理者が行う施策の方向性を提示

(1) 防災と海岸利用との調和

- ・ 安全な砂浜の利用のためにも、侵食対策等の対策が重要
- ・ 平常時利用も考慮した津波避難施設等の海岸施設の整備

(2) 公共空間としての海岸の使い方の工夫

- ・ 防災上の影響を考慮した上で、地域の実情・ニーズを踏まえた砂浜利用の柔軟な検討が必要

(3) 地域と一体となった取組み

- ・ 地方公共団体、地域住民、民間等が一体となった取組みが必要

29/30

参考文献

- 1) 淡野明彦：「沿岸域におけるリゾート型観光地域の形成-三重県志摩郡浜島町迫子地区の事例」『人文地理』38（1）,1986
- 2) Updated world map of the Köppen-Geiger climate classification MC Peell, BL Finlayson, TA McMahon - Hydrol. Earth Syst. Sci, 2007
- 3) （公財）日本生産性本部：レジャー白書2017
- 4)国土交通省河川局・港湾局，農林水産省農村振興局・水産庁：海岸形成ガイドライン，2006.1
- 5)日本財団：「海と日本」に関する意識調査，2017
- 6)山本晶三：海岸法の改正について，農業土木学会誌 67(12), 1999
- 7)日本河川協会：特集海岸法の改正について:強靱な国土を目指して，『河川』70(9), 2014
- 8) ビーチリゾートの創出に関する技術検討ワーキンググループ：砂浜の利活用の更なる促進に向けて（提言）～地域に根ざし、グローバルに拓けた「ビーチリゾート創出」を目指して～，2019.1

30/30

ご清聴ありがとうございました